



「節分」と言えば「豆まき」です。「福は内、鬼は外」と言って豆をまき邪鬼を払うのを「鬼やらい」と言います。もともとは大晦日にしていた「追儺」に由来し、中国から入って来たものです。そもそもは天皇家の年中行事だったのですか、室町時代に大晦日から春の節分に引っ越したようです。

今のように「豆まき」が普及したのは、近世になってからで、「豆まき」の後に豆を年齢の数だけ食べるのは、まめ（まめまめしいなどと言われるよう「健康」のこと）を願ってのことです。

聖書にも悪霊を追い出したり、病を癒やすなどの奇跡が報告されていますが、それらは悪霊を追い出したりすることそのものが目的ではありません。それは奇跡が行われることによって神さまの存在が証しされるためです。目的そのものが神格化されることはありません。病は再び罹るものですし、体は何れ滅びます。神さまは有限なわたしたちに、神さまの御国に復活する永遠の命を下さるために、独り子の主イエスを十字架にかけられ、その死から復活させられて、神さまに御国に上げられました。この出来事に神さまの愛が示されています。

園長 長村亮介

2024 年度主題	さあ、漕ぎだそう 奏でよう	2月主題	響き合う
今月の聖句	「愛する人たち、互いに愛し合ひましょう。」 ヨハネの手紙一 4章7節		
目 標	☆つくし組(1歳)…寒さの中にも春が近づいていることを感じ、自然の不思議さや面白さに気づき、楽しむ。 ☆すみれ組(2歳)…はさみ、のりの使い方を知り楽しく制作をする。 ☆むぎぐみ……友だちと一緒にいる心地よさを感じると共に、イメージを共有しながら遊ぶ。 ☆りすグループ…みんなで一緒に心と力を合わせ、作りあげていくことを楽しみ、自信を持って取り組む。また、仲間であるという意識を大切に持ち、遊び、話し、協力し、助け合っていく。 ☆きりんグループ…自分のやるべき事と向き合い、集中して取り組む。 友だちと1つの目標に向かって諦めず取り組み、達成する喜びを感じる。		

〈音楽会について〉

子どもたちは、音楽会の日を楽しみにしながら、毎日準備をしています。



ホールでの練習が始まると、大きな歌声が響いています。
楽しみですね。



2月7日(金) 10:30～ ホール